

新研究拠点「社会空間情報科学研究センター」を設立



関西大学は4月、社会空間情報に関する包括的な研究拠点「社会空間情報科学研究センター」を先端科学技術推進機構内に設立した。本センターは、社会空間情報を正確かつ柔軟に取得する計測技術の開発や、その技術を用いた新サービスの開発、社会空間情報の効率的な運用ルールと標準規約の確立のための方策研究を目的とする研究機関。センター長は、総合情報学部の田中成典教授が務める。

社会空間情報に関する計測・解析技術を多様な分野に適用して新たな気付きとなる社会空間情報サービスを開発するとともに、研究成果を広く普及させるため、学内外の研究者や民間企業、公的機関などと広く協力体制を構築。現在、約30社が共同研究に参画しており、全学部からも協力研究者を募集し、産官学連携活動を強力に推進する。

社会安全学部連続セミナーを開催

関西大学東京センターでは、全15回の社会安全学部連続セミナー「東日本大震災 復旧・復興5年の検証」を開催している。会期は4月7日から7月21日までの毎週木曜日(5月5日は除く)。

本セミナー開催の目的は、震災発生から5年が経過した今、復旧・復興の現状について改めて検証すると共に、首都直下地震などの巨大災害に備えるための政策課題を明らかにすること。震災発生直後に指摘した問題点や、我が国の災害対策の傾向が5年間でどう変化したのか、といった総論から、原発や津波、報道や復興支援といった各論まで、社会安全学部教授陣がリレー形式で解説している。



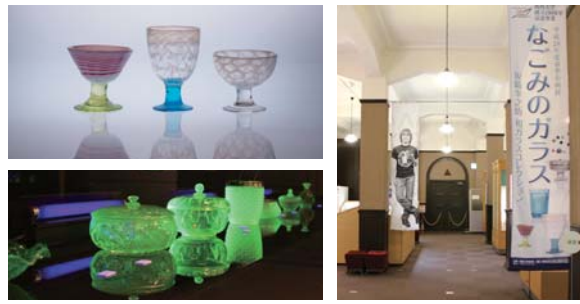
総合情報学部の学生がオリックス・バファローズ二軍公式戦の観客動向調査を実施

関西大学総合情報学部の徳山美津恵教授のゼミ生22人が、オリックスバファローズ二軍公式戦の観客動向調査を実施する。4月27日、一同は調査に先立ち、基礎知識などを習得するために、京セラドーム大阪を訪問。ドーム内外の視察をし、球団職員による講義を受けた後、ソフトバンク・ホークス戦を視察した。

2013年度から始まった本調査は、市民球場での試合実施と告知の効果測定や、学生視点からの分析と提案を目的とする。約半年間かけ、学生主体で「ベースボールマーケティング」に関する講義受講や試合観戦、調査内容の検討、会場での観客動向調査の実施、調査結果の分析、分析結果の報告及び戦略提案プレゼンテーションなどに取り組む。



平成28年度博物館春季企画展を開催 『なごみのガラス—坂崎幸之助 和ガラスコレクション—』



4月1日から6月30日(木)まで、千里山キャンパスにて、平成28年度関西大学博物館春季企画展「なごみのガラス—坂崎幸之助 和ガラスコレクション—」を開催している。企画展の中心は、ロックバンドTHE ALFEEのメンバーで和ガラスコレクターの坂崎氏が30年以上に渡って収集した和ガラス。しょうゆ差しやプレス皿、ミニチュア玩具など、明治から昭和前期を彩った懐かしく美しい品々が500点以上並ぶ。また、5月14日には神戸市立小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館館長・岡崎正氏による講演会が開催され、多くの来場者が熱心に耳を傾けた。なお、6月13日(月)には坂崎氏他による学術シンポジウムが開催される。

世界ジュニア選手権で本田真凜さんが金メダル、 世界選手権で宮原知子さんも健闘



3月14～20日、ハンガリー・デブレツェンで行われた世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会において、本田真凜さん(関西大学中等部3年生)が合計192.98をマークし、金メダルを獲得した。日本女子の優勝は6年ぶり7人目の快挙。男子では、体育会アイススケート部の中村優さん(政策2)が12位の成績となった。

また、3月28日～4月3日、アメリカ・ボストンで開催された世界フィギュアスケート選手権大会では、体育会アイススケート部の宮原知子さん(文1)が5位に入賞した。